

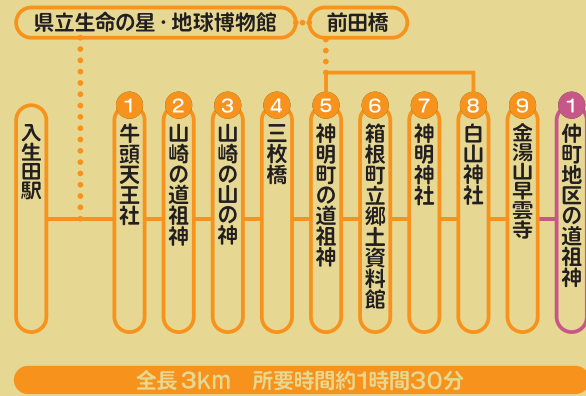
おすすめコース①
湯本から早雲寺

～箱根の入り口から北条の菩提寺へ～

箱根の入口、山崎から三枚橋を渡り、北条の菩提寺・早雲寺へ向かうコース。

湯本温泉の開湯伝説につながる白山神社、北条五代の供養塔がある早雲寺など史跡が盛りだくさん。

歩くとそこそこに道祖神や寺社が点在しているので、散策が楽しいコースです。



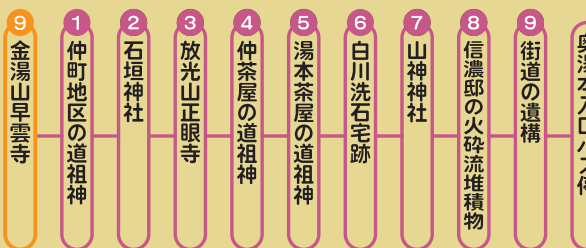
全長 3km 所要時間約1時間30分

おすすめコース②
早雲寺から湯本茶屋

～旧東海道・箱根の茶屋を歩く～

早雲寺を境に神明町から仲町に入ります。湯本の仲町と湯本茶屋をあわせて5か所に道祖神があります。全部をみつけられるでしょうか？

正眼寺を過ぎると湯本茶屋に入ります。箱根細工の中でもコマや入れ子のようなロクロ細工が盛んな地域でしたが、戦後、温泉を掘り当てたことで宿泊施設が増えました。県道沿いには街道の遺構がたくさんあるので、昔の旅人氣分を楽しみましょう。



全長3km 所要時間約60分

YOSEGI-Chan

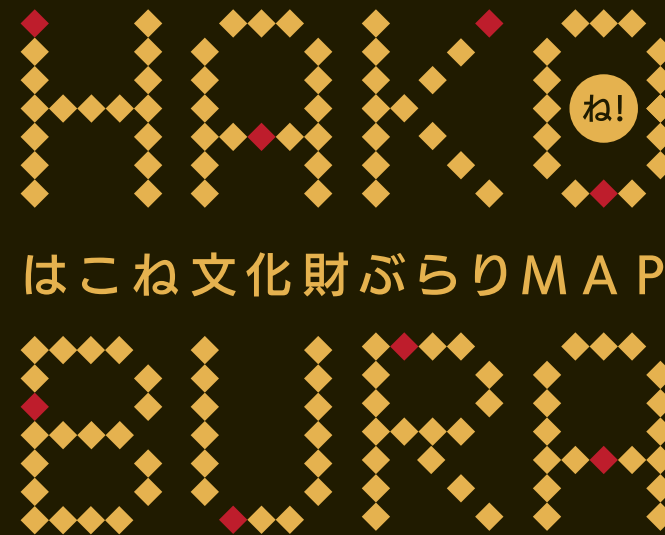


箱根町文化遺産活性化実行委員会

〒250-0315

神奈川県足柄下郡箱根町塔之澤 74(福住楼内)

監修 箱根町教育委員会



箱根の玄関口、箱根湯本。国道1号から芦ノ湖へと抜ける道は江戸時代の五街道のひとつ、東海道の中でも最大の難所といわれた箱根八里(小田原～芦ノ湖～三島)の一部で、当時の姿を今に伝えています。

このマップでは、入生田駅を下車し、山崎地区から旧東海道の史跡がたくさん残る湯本茶屋までを歩きます。

箱根開湯の起源となった白山神社や、箱根町郷土資料館、早雲寺など歴史ファンには楽しい散策コースです。



湯本

みどころ
金湯山早雲寺



早雲寺は小田原北条氏の菩提寺。北条五代の供養塔、室町時代の連歌師「宗祇」の句碑・供養塔、千利休の高弟「山上宗二」の追善碑、戊辰戦争時の隊士の墓など多くの碑を見学できる歴史スポット。

6 白川洗石宅跡

白川洗石は、箱根細工の職人です。明治時代に「木象嵌細工」の発展に尽くしました。木象嵌は、板に色の違う木材をはめ込んで図形や絵画を表現する技法です。

洗石は明治25年(1892)ごろ、最新技術として海外からやってきた足踏みミシンを応用し、針のかわりに糸鋸をつけて木を切る方法を考案し、実用化に成功しました。



8 信濃邸の火砕流堆積物

約1万8千年前の駒ヶ岳の噴火による火砕流で、付近の樹木が炭化したものと考えられています。

ここから駒ヶ岳は見えないですが、このような遠くまで火砕流が流れてきたことがわかる展示です。

民家の駐車場にガラスケースで覆われています。



9 街道の遺構

湯本茶屋にある遺構は、江戸時代の東海道の姿を伝えるものがいくつかあります。



江戸から22里(約86km)目の塚の跡地です。塚の上には榎が植えられました。



国史跡「箱根旧街道」の一部として保全されている石畳。古の旅人気分になります。薄暗く足元がすべる様子は、唱歌「箱根八里」の歌詞の通りです。

この先は須雲川コース。

3 放光山正眼寺

室町時代初期の建武2年(1335)の史料にみられる「湯本地蔵堂」の別当寺(地蔵堂を管理する寺)として建てられたものと考えられ、すでに応永2年(1395)の史料に「勝源寺」の名でその存在が確認されています。

このあたりが地蔵信仰の霊地だったことを物語るように境内には大小様々なお地蔵さまが祀られ、中でも「曾我堂」に安置される2体の地蔵は、仇討で知られる「曾我兄弟の像」として有名。

また、本堂は国登録有形文化財となっています。



2 石垣神社

石垣神社は仲町の氏神様で、太郎坊、次郎坊という天狗をお祀りする山の神の神社です。石垣神社の名前は秀吉が小田原攻めをした際に作った「石垣山の一夜城」に由来するそうです。

階段の登り口には「石垣山両部大権現」と刻まれた石碑があります。両部神道という平安時代に生まれた神道と仏教を合わせた宗派に関係があるので、石垣神社も古くから信仰されていたと考えられます。石碑は明和2年(1765)のものです。



1 仲町地区の道祖神

仲町地区には集落の外れにある道祖神が3基もあります。江戸時代に記された「新編相模国風土記稿」には、今の仲町(当時は中宿)には「中宿」「早雲寺門前」「堂ノ前」と3つの小字があると記されていて、それぞれの集落が道祖神を建てたのでしよう。

これらはいずれも石祠型の道祖神です。また仲町や堂ノ前の道祖神のまわりには石積みがありますが、これらはもともと五輪塔であったものの一部です。



久保町



仲町



堂ノ前

8 白山神社

奈良時代に各地で天然痘が流行しました。その時、白山(日本三霊山のひとつとして信仰を集めていた)から一人の僧侶が遣わされ、湯本で修法を行うと、温泉が湧き出し、その湯に浸かると病気が治ったといわれます。これが、湯本温泉のはじまりとされ、白山神社ができました。

神社の近くには、かつて山岳文学「スウオス日記」の作者で、高山植物栽培のさきがけである辻村伊助の家がありました。しかし、関東大震災の土砂崩れで埋まってしまいました。そのことを伝える案内板があります。



湯本 YUMOTO

7 神明神社

江戸時代に描かれた「東海道分間延絵図」には「山の神」と書かれているように、古くから祀られており、現在ではこの地域の氏神様として1月の2週目ごろにお祀りをしています。



1 牛頭天王社

牛頭天王は、インド発祥の仏教の守護神。日本ではササノオノミコトの別名とされていて、村と村の境界に祀られて疫病が入り込むのを防いでいるとされています。

小田原と箱根の境に祀られ、山崎を守る牛頭天王社は毎年7月に天王祭が行われ、山伏がお祓いをします。



2 山崎の道祖神

駐車場のわきにある、道祖神です。集落に疫病が入るのを防ぐ神様です。昔、子供たちに叩かれたり、水に沈められたりしたので、傷んでいるそうです。



3 山崎の山の神

街道から遮断機のない踏切を進むと山の神があります。階段の途中には六十六部塔という、天文12年(1543)に建てられた石塔があります。



4 三枚橋

東海道の箱根山中の玄関口ともいえる橋です。江戸時代には土橋で、板を3枚渡していたからこの名前がついたと言われていました。現在の橋は昭和31年(1956)にできました。



5 神明町の道祖神

三枚橋近くの街道沿いにある道祖神です。祠の中に双体像(一つの石に二つの仏像が彫られています。)が納められています。1月の2週目にドンド焼きが行われます。



6 箱根町立郷土資料館

箱根温泉の歴史と発達を中心に、古い絵図や写真をたくさん使ってわかりやすく展示している資料館。ミニチュアわらし作りや寄木の模様の秘密がわかるパズルなど体験コーナーも充実しています。



9 金湯山早雲寺

小田原北条氏の菩提寺(先祖代々のお墓があるお寺のこと)です。2代目氏綱が京都大徳寺の僧「以天宗清」を迎えて寺を開きました。

その後、天正18年(1590)の小田原の役で、豊臣秀吉の本陣として使用されましたが、石垣山の一夜城ができた後に秀吉に火を放たれて、焼けてしまいました。

江戸時代に入ると再建され、現在にその姿を残しています。



7 山神神社

湯本茶屋の氏神です。山神社(さんじんさん)とも呼ばれています。江戸時代に創建されました。

5月と9月にお祭りがあり、5月には山車(屋台)がでたりとにぎやかです。神社の入口に地域の水道の水源地があり、水神が祀られています。神社の例祭にあわせてお祀りします。



この先は須雲川コース。